

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	生活管理指導短期宿泊事業			事業コード	0420
担当課等	所属名	保健福祉部 高齢者支援室		担当係名	
	課長名	渡邊 光市	担当者名	保健福祉部 高齢者支援室 深田	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	高齢社会に適応した高齢者福祉の充実	コード 4
	基本事業	高齢者福祉サービスの充実	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 3款 1項 3目 総務事務(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 平成12年度～)		
事務事業の概要	基本的な生活習慣の維持が一時的に困難な高齢者等を養護老人ホーム又は軽費老人ホームに宿泊させ、基本的な生活習慣の確立をはかる。					
根拠法令等	盛岡市生活管理指導短期宿泊事業実施要綱					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
介護保険制度施行以前に実施されていた在宅福祉施策の「短期入所事業」に代わり、平成12年度から開始された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
利用期間(現在はおおむね7日)の延長等が希望として聞かれる。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
高齢者虐待等、緊急避難が必要な場合等の受け皿としての役割も期待されている状況であり、高齢者を取巻く様々なケースに対応できるよう、柔軟なサービス提供が求められる。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	基本的な生活習慣が実行できない65歳以上の一人暮らし高齢者等	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 65歳以上の一人暮らし高齢者	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・施設事業者との委託契約事務 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 対象となる高齢者を養護老人ホーム又は軽費老人ホームに宿泊させる。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 延べ利用者数	単位	人
				B. 委託料支払実績	単位	円
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	基本的な生活習慣の確立が図られるようにする。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 介護移行者数/利用者数×100 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				B.	単位	
				C.	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	日常生活を安心して不便なく送ることができる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	相談などを受けている高齢者数(単位:人)		
				介護予防事業参加者数(単位:人)		
				介護保険サービス利用者数(単位:人)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	65歳以上の一人暮らし高齢者	人	7,888	8,413	8,500	9,059	9,100	9,200	24年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	延べ利用者数	人	22	0	14	0	14	14	24年度
活動 指標B	委託料支払実績	円	83,820	0	53,340	0	53,340	53,340	24年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	介護移行者数/利用者数×100	%	0	0	0	0	0	0	24年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	83	0	53	0	53	53	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円	83	0	53	0	53	53	*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	83	0	53	0	53	53	*****
	延べ業務時間数	時間	30	3	30	3	3	3	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	120	12	120	12	12	12	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	203	12	173	12	65	65	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 高齢者の基本的な生活習慣の継続を図ることにより、健康な生活を維持できるほか、介護予防にもつながることから結びつく。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 緊急的に短期宿泊できる環境を整えることで、安心した在宅生活を送ることができ、在宅生活の維持継続につながるため。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 介護予防及び在宅生活の維持を目的としていることから現状で妥当である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 住み慣れた地域で生活することができるよう支援する事業であり、妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 利用できる日数を延長することができれば、虐待による一時避難の受け皿としての機能も果たすことができる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 介護認定を受けていない高齢者の受け入れの場が無くなるため、安心した在宅生活が困難となり、施設移行が進む可能性がある。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事業に係る委託料は、国の基準に準じて設定しているため、削減は困難である。案件が生じた際に実施することとなり、当初予算はない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現状で必要最低限の作業時間しか割いていない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 要綱により対象者を定めており、現状で妥当と思われる。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 国の基準に基づいて料金を設定している。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 利用日数の延長が可能となれば、より多様な事情による申請に対応できると思われる。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 予算の確保が困難である。実績が無いため、予算要求も困難な状況であるが、緊急時に迅速に対応するためにも、予算配当を望む。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>高齢社会における多様なニーズに応え、介護予防を進める上で必要性が高い事業である。</p>										
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									
												
	<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>高齢者の増加と生活様式の多様化に伴いニーズも多様化してきており、虐待等への対応など弾力的な活用について、関係機関と協力しながら事業のあり方を検討する必要がある。</p>											